

平成30年度 サポートみらい 事業実績報告書

1 総括

平成30年度は全相談者の状況把握と希望や課題へのきめ細かな対応、相談者の情報管理と計画作成のスケジュール管理の徹底、計画充実のための職員のスキルアップを重要課題として取り組んだ。今年度は専任職員2名でスタートし、年度当初は相談者に対してきめ細かな対応が実施できていたが、職員の退職により8月から専任1名態勢となった。その影響から、下半期は障害福祉サービスの円滑利用のための計画作成へと重点を移さざるをえなくなり、モニタリングの実施などは丁寧に対応することができなかった。しかし、今まで定期的に行えていなかった職員会議を定例化することにより、事業運営の状況や困難ケースなどの情報共有は以前と比べて円滑になったと感じる。

次年度は、職員態勢を整えつつ、モニタリングの実施が丁寧に行えるよう計画的なスケジュール管理のもと、相談支援専門員同士での業務連絡や相談者の状況共有などの連携を積極的に図っていく、全相談者へきめ細かな対応が行き届くよう努めていきたい。

2 事業概要

- 1) 施設名 サポートみらい
- 2) 事業種別 特定相談支援事業
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-3
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 6) 事業開始年月日 平成25年4月1日
- 7) 職員 (平成31年3月31日現在)
管理者 1名
相談支援専門員 3名
- 8) 事業を行なう地域 小平市、西東京市、東村山市、東大和市、東久留米市、小金井市、清瀬市、所沢市、板橋区、武蔵野市、足立区

3 基本理念

一人ひとりの自己実現
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
安心と希望のもてる生活

4 基本方針

利用者の意向を踏まえ、それぞれの地域で日常生活、社会生活を実現できるように、関係区市町村、地域の保健・医療・福祉サービス機関等との連携を図り総合的なサービスの提供に努める。

5 実施事業（活動内容）

1) 相談

- (1) 生活全般に関する相談
- (2) サービスの利用意向（現在のサービス）
- (3) 解決すべき課題の整理

2) サービス担当者会議の開催

- (1) 複数サービスに共通の支援目標
- (2) 役割分担
- (3) ネットワーク強化

- 3) サービス等利用計画の作成
 - (1) 生活に対する意向
 - (2) 総合的な支援の方針
 - (3) サービスの目的

- 4) モニタリング
 - (1) 本人の意向
 - (2) 計画の達成
 - (3) サービスの種類、内容、支給量

6 重点課題・目標に対する評価

1) 活動

- (1) 相談者の正確な情報を把握する。

定期的な面談や電話連絡等、また関係機関からの状況の聴取等を行い、相談者の状況やサービス提供の状況を正確に把握する。

【成果と課題】

全相談者260名のうち、当法人以外の通所等事業利用者113名を優先し、電話連絡等で全員の近況確認を行った。確認によって得た情報はその都度、更新を行い、正確な情報の把握が行えた。

- (2) 関係者会議の実施

相談者のニーズに伝えていくため、相談者、家族、関係機関等による会議を開催し、支援方針の共有やネットワークによる重層的な支援、また必要な資源の開発、開拓を行う。

【成果と課題】

(1)と同様、普段情報のとりにくい当法人以外の事業利用者113名を優先し、内21名の関係者会議を延36回開催した。21名の相談者の内、3名は緊急的に対応が必要なケースであり、会議開催がきっかけとなり課題解決を行うことができた。他の18名については、緊急的な課題はないが、サービス提供の状況確認のため実施し、支援方針の再確認を行うことができた。必要な資源の開発、開拓については、市外へと範囲を広げて短期入所やグループホームを中心に電話やファックスでの問い合わせ、訪問、見学を行った。サービス利用に繋がったケースは1件であったが、集めた情報を整理して保管したことによって、今後は情報の有効利用が期待できる。

- (3) サービス等利用計画の内容充実とモニタリングの実施

丁寧な状況把握と関係機関との連携によるサービス提供プランによって、計画内容を充実させると共に、モニタリングを確実にを行い、サービス提供の状況とその効果の評価を行う。

【成果と課題】

今年度は計画作成が必要な方267件の全ての作成と、モニタリングが必要な方451件の内362件を実施した。スケジュール管理に漏れがあり、モニタリングが全件数実施できなかったことは大きな反省点である。

- (4) 関係機関との連携強化

相談者に有効な社会資源を迅速かつ的確に提供できるように、日常的に関係機関との交流を深め、連携の強化を図る。

【成果と課題】

今年度は、4月、7月、10月、2月に市内自立支援協議会の相談支援ワーキングに参加し

たほか、5月と6月に東大和市相談支援事業所会議、8月に4市（小平市、東大和市、東村山市、武蔵村山市）合同の相談部会学習会に参加した。新制度や地域の社会資源について学ぶことができたほか、各自自治体や他の相談支援事業所と現状や課題について情報交換が行えた。また、様々な会議等に参加し、関係機関との顔の見える関係性が進んだことは今後の事業に有益と考える。

(5) 計画作成のスケジュール管理の強化

障害福祉サービスの円滑な利用の為、計画作成、モニタリングなどのスケジュール管理また、相談者情報の管理を徹底する。

【成果と課題】

今年度は各月に誰が計画作成を行うかという時間軸で管理を行う方法に変更した。このことで、スケジュールの把握が容易になり、サービス更新時の計画作成については対象者全員の更新が滞りなく行うことができた。しかし、前述の通りモニタリングについては一部実施ができなかった。

(6) 将来の生活に向けた支援

グループホーム、施設入所、短期入所など住まいの課題や将来の生活に向けた課題について、長期的視野を持って計画作成を行うと共に、事業所情報の把握に努め、相談者のニーズに迅速に対応できるよう努める。

【成果と課題】

今年度の相談内容のうち、住まいに関する相談が日中活動に関する相談に続いて2番目に多く、グループホームについての相談が47件、短期入所についての相談が15件あった。その内、即時グループホームへの入居が必要だった方は2名であったが、2名とも入居に結び付けることができた。また、短期入所の利用に結び付いた方が5名であった。相談対応においてグループホームと短期入所はニーズに対して小平市内の事業所数が不足しており、利用に結びつくケースがほとんどなかったといえる。そのため、グループホーム2名については市内のホームに空きがなく、市外のホームの紹介となった。今後も市外の状況も含めて、情報収集に努め、利用者のニーズにできるだけ対応できるようにしたい。

2) 人材育成

(1) スケジュール管理能力の向上

データの整理方法を工夫し、情報の更新時期など正確に把握できるようになる。

【成果と課題】

データは、主に個人ファイルおよび名簿で管理し、更新時期などの情報把握の正確性が向上した。

(2) 課題解決策等の提案力の向上

法制度や地域の社会資源に関する知識を向上させ、利用できるサービス、またその他の制度や事業所情報を相談者に伝えられるようにする。

【成果と課題】

相談支援事業所会議等に参加し、新制度の学習や地域のグループホームや短期入所等に関する情報収集を行った。また、研修等に参加し事例検討を通じて具体的な解決手法を学んだ。しかし、相談者には知識として制度や事業所情報は提供したが、それらを具体的にどのように活用していくかという手法については十分な提案ができたとはいえず、課題として残った。

(3) 関係機関との連携強化

ケースを通じて、日常的に密に連絡を取り、連携した支援が行えるように関係性を強化する。

【成果と課題】

1) - (4) に記載の通り、関係性ができつつある。

3) 経営管理

(1) 計画相談作成給付費の増収

計画相談作成給付費の増収のため、以下の目標を設定する。目標達成の場合、約55万円の増収が見込まれる。

- ・サービス等利用計画作成件数 250件 (29年度 247件)
- ・モニタリング実施件数 300件 (29年度 286件)

【成果と課題】

サービス等利用計画については、年間目標数の250件に対して267件、モニタリング年間目標数300件に対して362件実施した。前年度と比較し、約262万円の給付費の増額となった。(29年度 826万円、30年度 1,088万円)

(2) 節電等による経費削減

【成果と課題】

面談室の消灯やエアコンの消し忘れは殆どなく節電が徹底できた。

(4) 整理整頓、在庫管理の徹底により計画的な備品等の購入。

【成果と課題】

事務所内の整理整頓を行い、事務用品や消耗品等の消費を確認しながら、計画的に購入できている。

7 開所状況

- 1) 開所期間 自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日
- 2) 開所日数 (1) 週開所日数 5日間
- (2) 開所時間 午前10時～午後5時
- (3) 年間延開所日数 244日間

8 相談者状況 (平成31年3月31日現在)

身体障害者：23名 知的障害者：173名 精神障害者：64名
その他の障害者：0名 合計：260名

9 計画作成件数

- ・計画作成件数 267件
 - 内 法人内相談件数 163件、 法人外相談件数 104件
 - 居住地内訳 小平市246件、西東京市6件、東村山市8件、東大和市1件、東久留米市2件、清瀬市2件、所沢市1件、足立区1件
- ・モニタリング件数 362件
 - 居住地内訳 小平市341件、西東京市5件、東村山市5件、東大和市1件、東久留米市5件、清瀬市3件、武蔵野市1件、足立区1件